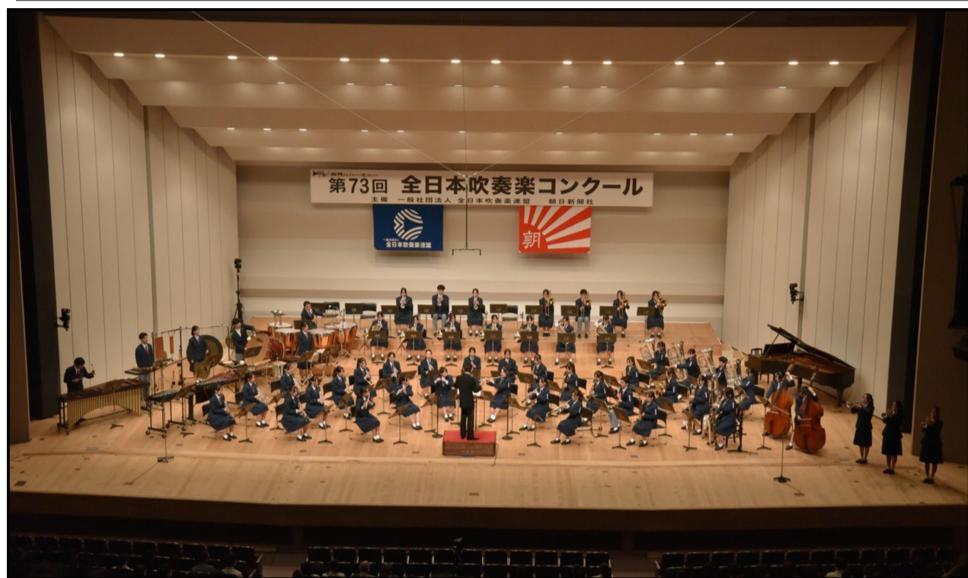


# 20年ぶり念願の金



全日本吹奏楽コンクールで演奏する松陽吹奏楽部。「ローマの祭り」は派手なイタリアの祭を歴史的な要素を織り込んで時代順に描いた壯麗な交響詩。(宇都宮市文化会館)

10月19日に宇都宮市文化会館で開催された全日本吹奏楽コンクールに今年度も出場した松陽高校吹奏楽部。自由曲に、2004年に初めて本校が金賞に輝いた際に演奏された「ローマの祭り」で挑み、悲願を達成した。

「ローマの祭り」で  
銀の壁を破る

6大会連続出場の快挙を成し遂げながらも、昨年も銀賞に止まり涙を飲んだ。そして今年、20年ぶりの金賞を見事獲得した。大会では自由曲に「ローマの祭り」(レスピーギ作曲)を演奏した。この曲は、2004年に松陽高校が初めて全国大会で金賞を受賞した曲であり、顧問の立石先生も「思い入れがある」曲での挑戦となつた。



部長  
高松千奈さん  
(3-7・谷山中)

日々の行動から改善  
「あと3点」の悔しさ



生徒指揮  
内村結衣さん  
(3-7・城西中)

副部長の松木皇君さん(3-7・霧島中)は、「音楽は聴く人へ何かを届けたり、情景を思い浮かべてもらつたりする存在だ」とことから、今までとは違う松吹になるために役員で考え続けてきた。そして、みんなで踊つて音を体で表現すると今までよりも音に芯が出て鮮やかになつた」と練習方法について工夫したことなどを語つた。



副部長  
松木皇君さん  
(3-7・霧島中)

部長の高松千奈さん(3-7・谷山中)は「ステージで金賞と言われた時は最初信じられなかつた。本当に獲ることができ驚いた後に涙が溢れた」と語つた。また、「昨年はあと3点で金賞を逃した。3点が悔しくて何が足りないのか必死に考えた一年だつた。日々の行動にも気を付けて、全てが本番の演奏につながつていると考へて全員で行動

を大切にしてきた。また、パート内や同じグループの人たちで一緒に練習をして音の指向性を合わせた。常にホールのイメージをもつて練習を心がけた」と語り、



インスペクター  
佐藤芽依さん  
(3-7・川内北中)

生徒指揮の内村結衣さん(3-7・城西中)は「練習の最初は基礎合奏を必ずすることによってお互いの音色が揃うように積み重ね

A 最高賞の「金賞」を受賞できるなんて夢のようですが、「夢」を「夢」で終わらせなかつた生徒たちは本当にすごいと思います。生徒には感謝の気持ちでいっぱいです。

A 今大会での演奏を振り返つていかがでしたか  
九州大会では私が緊張して「守りの演奏」になつた

Q 全国金賞獲得の感想を教えてください  
A 最高賞の「金賞」を受賞できるなんて夢のようですが、「夢」を「夢」で終わらせなかつた生徒たちは本当にすごいと思います。生徒には感謝の気持ちでいっぱいです。

Q 祭りの樂さに工夫して実現する全国出場の蓄積を教えてください  
A 吹奏楽部顧問の立石純也先生は本校第3期生で、高校時代は吹奏楽部の部長を務めた。また本校には1998年から10年、そして2017年から現在まで9年の計19年に渡り勤務し吹奏楽部を指導してきた。

Q 今回の演奏曲についての思いを教えてください  
A 自由曲に選んだレスピーギ作曲「ローマの祭り」は、2004年に松陽高校が初めて全国大会で金賞を受賞した思い入れのある曲です。今年、吹奏楽部は「原点回帰」をスローガンとしました。結果的に20年ぶりの金賞を21年前に金賞を受賞した樂曲で再び受賞することができました。

Q 金賞につながった理由  
A 全日本で金賞を受賞したからといって何も変わりません。ただ今年と同じような結果を得たいのであればさらにコツコツと活動していくしかありません。コンクールの結果がすべてではありませんが、吹奏楽を愛好している方に応援される「愛されるバンド」ではなくてはならないと思つています。

〔立野美吹〕

## 吹奏楽部

### 第73回全日本吹奏楽コンクール

## 「原点回帰」の曲で挑戦



発行所  
鹿児島県立松陽高等学校  
新聞同好会  
鹿児島市福山町573番地

#### 第6号紙面案内

- 1面…吹奏楽部特集  
20年ぶり全国金賞受賞
- 2面…体育祭特集  
お茶の葉の再利用の実践
- 3面…松陽生の活躍  
能代松陽高校と交流
- 4面…芸棟の謎に迫る①  
松陽グルレボ探検隊



制作 山口幹正(2-3)  
生徒会長の山口君の作品。明清時代の書家王鐸の作風を意識し、スマーズに文字が目に入るよう工夫した。県高校書道展で秀作賞を受賞。管理棟3階に展示中。〔長野雄太〕

